

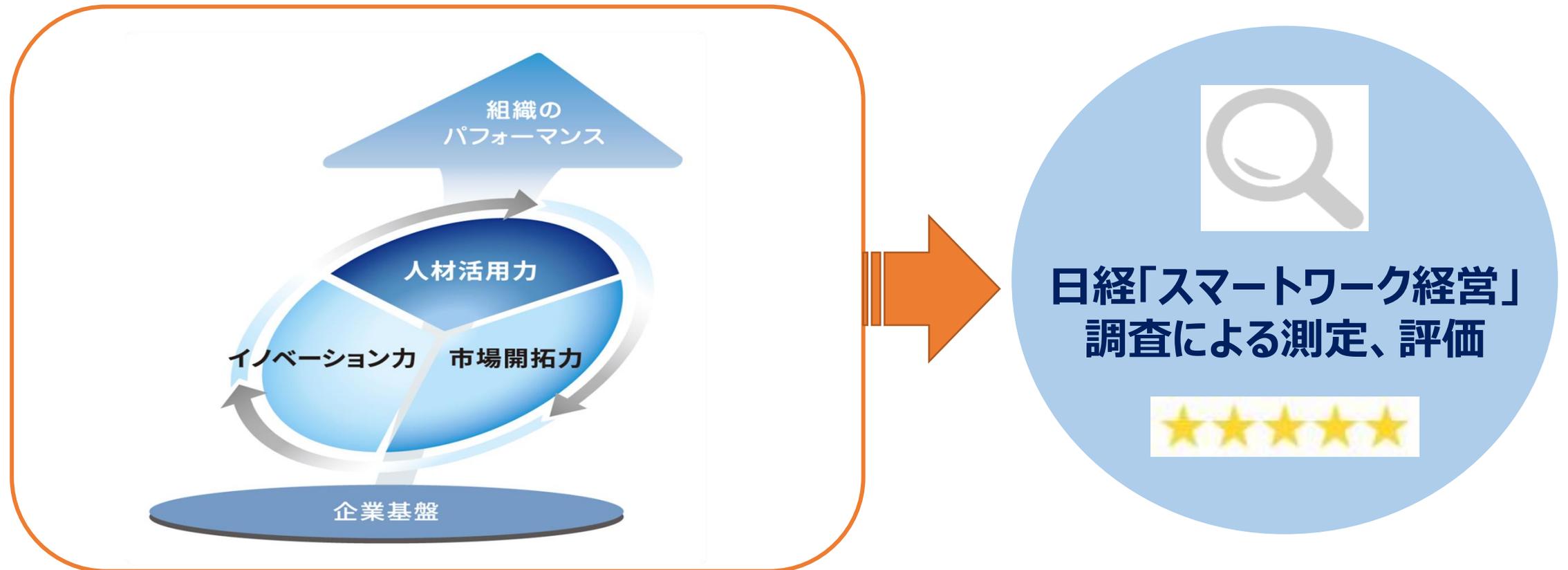
# 日経スマートワーク経営フォーラム 第3期会員募集のご案内

日経スマートワークプロジェクト事務局



# 日経スマートワーク経営フォーラムとは

日経グループが提唱する「スマートワーク経営」を  
より深く理解し、情報を共有するための会員組織



# スマートワーク経営を実現するには

調査による課題発見を起点に、  
情報収集、経験、交流、情報発信までのさまざまなレイヤーへの一貫した取り組みが必要

**経験:** 課題解決のためのセミナーや研修  
などへの参加、経験



**交流:** 同じ課題を持つ会社や知見を  
持つ識者、専門家とのネット  
ワーキング



**最終目標：人的価値の開示**

**情報開示:** 自社の取り組みやサービ  
スを知らせ、浸透させる  
ための対外的な開示



**情報収集:** 自社の課題を解決するための  
より詳細な情報と知見



**課題発見:**

日経「スマートワーク経営」  
調査への回答と結果分析



# アドバイザーメンバーの設定とグループ内リソースの提供

## アドバイザーメンバー

### 日経スマートワーク大賞審査委員会メンバー

- 委員長 清家 篤 氏(日本私立学校振興・共済事業団理事長)
- 委員 坂東真理子 氏(昭和女子大学 理事長・総長)
- 委員 鶴光太郎 氏(慶應義塾大学大学院商学研究科教授)
- 委員 ロバート・アラン・フェルドマン 氏  
(モルガン・スタンレーMUFJ証券 シニアアドバイザー)
- 委員 石黒 浩 氏(大阪大学大学院教授)



清家氏



坂東氏



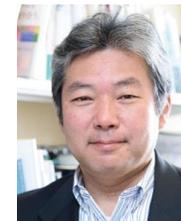
フェルドマン氏



石黒氏

### 日経スマートワークプロジェクト「スマートワーク経営研究会」メンバー

- 座長 鶴光太郎 氏(慶應義塾大学大学院商学研究科教授)
- 委員 山本 勲 氏(慶應義塾大学商学部教授)
- 委員 滝澤美帆 氏(学習院大学経済学部教授)
- シニアアドバイザー 森川正之 氏  
(一橋大学経済研究所教授、経済産業研究所所長)



鶴氏



山本氏



滝澤氏



森川氏

## グループ内のリソースを結集

日本経済新聞 編集委員

石塚由紀夫



日本経済新聞社 人材教育事業局



日経リサーチ(日経スマートワーク経営調査チーム)  
QUICK(Market Eyesコメントチーム) 他



# 会員向けメニューのご紹介

- 「Smart Work経営 診断プログラム ベンチマークレポート」
  - ・プレミアム版の提供
  - ・ベーシック版の提供
- アドバイザリーメンバー、日経グループによる特別セミナー受講
- 日本経済新聞社による特別研修受講
- 調査データの活用ツールの提供
- 会員同士のネットワーキング参加
- シンポジウムの開催、会員向けセミナーへの登壇 ※有料
- 会員専用HPの利用

# Smart Work経営 診断プログラム ベンチマークレポートの提供

日経「スマートワーク経営」調査回答後にお渡しするフィードバックレポートに追加する形で、より詳細な分析をしたベンチマークレポートを提供します。今後のスマートワーク経営の指針となる詳しい分析をお届けします。

## <レポートの特徴(ベーシック・プレミアム共通)>

- ・自社の詳細な評価(偏差値)を確認できます。分野ごとの強み・弱みがわかります。
- ・高ランク企業や同業種企業の評価や取り組み状況と比較することで、自社の不足している取り組みがわかります。
- ・人材活用力向上のための取り組みについて自社の制度の導入と制度の活用  
の進み具合のバランスがわかります。

## <プレミアム版の主な特徴(ベーシック版との違い)>

- ・自社の指定する企業(5社以上)の平均と比較することができます。  
※個別の回答や評価はわかりません。
- ・ほぼ全ての設問の回答分布および指定企業の平均実施率・実施状況がわかります。



# 調査データ活用ツールの提供

QUICKが提供する日経「スマートワーク経営」調査の結果と個別銘柄の株価動向などを組み合わせて確認できる特設サイトを会員限定で利用できます(2022年6月～2023年3月。利用期間を延長しました)。

ランキングページ

NIKKI  
Smart Work

「日経スマートワーク経営調査」は、日本経済新聞社と日経リサーチが、企業向けアンケート調査や消費者調査、公開データなどから18の評価指標を作成し、企業の「Smart Work経営」を評価するものです。「人材活用力」「イノベーション力」「市場開拓力」の3分野で構成され、各分野の評価とそれらを合算した総合評価の計4つの評価結果が毎年公表されています。

※「日経スマートワーク経営調査」では非上場企業も調査対象に含まれていますが、本ページでは上場企業のみを表示しています。

※評価結果は、偏差値を基に9段階の格付けで公表されています。本ページでは、各格付けを★1～★5(0.5刻み)で表記しています。

スマートワーク経営調査の詳細について 関連コンテンツ: アラバスク

ランキング 個別

指定されている条件 表示年: 2020年 格付け: ★5.0 対象分野: 総合、人材活用力、イノベーション力、市場開拓力

表示年 2020年 格付け ★5.0 ~ ★5.0 対象分野  総合  人材活用力  イノベーション力  市場開拓力 切替

指標	株価 (01/28)	前日比騰落率 (%)	1年騰落率 (%)
表示対象銘柄の平均		-0.95	+0.46
TOPIX	1,838.85	-1.14	+8.66
日経平均株価	28,197.42	-1.53	+21.46

銘柄 コード	銘柄名	格付け				株価 (円、01/28)	前日比騰落率 (%)	1年騰落率 (%)
		総合	人材活用力	イノベーション力	市場開拓力			
8001		★5.0	★5.0	★5.0	★5.0	3,075	-0.77	+20.09
8766		★5.0	★5.0	★5.0	★5.0	5,261	-1.81	-12.08
9434		★5.0	★5.0	★5.0	★5.0	1,377	-0.29	-6.64

QUICKの日経SW関連記事

<DEC>17J注目銘柄 [リンク]が株主総会、ピークは今週【日経SW経営調査】 2021年01月06日

タブクリックで画面切り替え

対象年、星数、対象分野を指定してスクリーニング

右上部に、抽出した銘柄の騰落率平均および指数の前日値と騰落率を表示

各銘柄の前日株価と騰落率、1年騰落率を表示

・対象銘柄および日経平均とTOPIXのチャートを表示  
・期間と足を切り替え可能

抽出結果を各星数でソート可能

個別ページ

★総合 ★★★★★

★人材活用力 ★★★★★

★イノベーション力 ★★★★★

★市場開拓力 ★★★★★

直近年の星数を表示

星数の推移

格付けの推移

★の数

2017年 2018年 2019年 2020年

総合 人材活用力 イノベーション力 市場開拓力

8か月 日足 チャート切替

TOPIX 日経平均 伊藤忠

2020/08/01 2020/09/01 2020/10/01 2020/11/01 2020/12/01 2021/01/01

TOPIX 日経平均 伊藤忠

# 特別セミナー 開催実績

(肩書は開催時のものです)

## 第1回 2020年9月28日(月)

開催方式 ZOOMIによるウェビナー、ミーティング形式でのセミナー

テーマ 「日経スマートワーク経営調査・過去3回から見えてきたもの

～従業員の理解・ウェルビーイングを高めることは企業業績の向上につながるか～

講師 慶應義塾大学大学院商学研究科教授、「スマートワーク経営研究会」座長 鶴光太郎 氏  
慶應義塾大学商学部教授、「スマートワーク経営研究会」委員 山本 勲 氏  
学習院大学経済学部教授、「スマートワーク経営研究会」委員 滝澤 美帆 氏

※参考テキスト「日経スマートワークOUTLOOK 2020」



## 第2回 2021年1月29日(金) ※終了後、オンライン交流会を開催

開催方式 ZOOMIによるウェビナー、ミーティング形式でのセミナー、交流会

テーマ 「コロナ禍におけるシニアと女性の活躍」

講師 日本私立学校振興・共済事業団 理事長  
昭和女子大学 総長・理事長

清家 篤 氏  
坂東 真理子 氏



## 第3回 2021年5月25日(火)

開催方式 ZOOMIによるウェビナー、ミーティング形式でのセミナー

テーマ 「コロナ禍が加速した働き方革命:企業の反応、社会の反応」

講師 モルガン・スタンレーMUFJ証券 シニアアドバイザー

ロバート・アラン・フェルドマン 氏

※QUICK社によるプレゼンテーション「コロナ禍で問われた『イノベーション力』」を実施しました。



## 第4回 2021年6月25日(金) ※終了後、オンライン交流会を開催

開催方式 ZOOMIによるウェビナー、ミーティング形式でのセミナー

テーマ 「生産性向上とイノベーションの関係性」

講師 ▼アバターと未来社会 大阪大学大学院教授  
▼テレワークと生産性 一橋大学経済研究所教授、経済産業研究所

石黒 浩 氏  
森川正之 氏



# 特別セミナー 開催実績

(肩書は開催時のものです)

## 第5回 2021年9月28日(火)

開催方式 ZOOMによるウェビナー、ミーティング形式でのセミナー  
テーマ 「サントリーの働き方改革のあゆみ～コロナ禍における新たな働き方への挑戦～」  
講師 サントリーホールディングス ヒューマンリソース本部  
人材・組織戦略部長 兼 ダイバーシティ推進室長 千大輔 氏  
プレゼンテーション 「釜石の復興と挑戦に学ぶ、越境学習(ラーニングワーケーション)プログラム」  
講師 日本能率協会マネジメントセンター 新事業開発部 部長 川村 泰朗 氏



## 第6回 2021年12月6日(月) ※終了後、リアル交流会を開催

開催方式 リアル形式でのセミナー、交流会  
テーマ 「タニタの働き方革命 その後」  
講師 株式会社 タニタ 代表取締役社長 谷田 千里 氏



## 第7回 2022年3月31日(木)

開催方式 ZOOMによるウェビナー、ミーティング形式でのセミナー  
テーマ 「『WAA』5年後の現実と課題－会社と社員を結ぶパーパス－」  
講師 ユニリーバ・ジャパン・ホールディングス合同会社 人事総務本部長 島田 由香 氏

※各回とも、コーディネーターは  
日本経済新聞社 編集委員 石塚由紀夫  
が務めました。



いずれも会員限定  
でアーカイブ映像  
を配信中

日本経済新聞社が企画するSmart Work推進に寄与する企業向け研修を会員限定で提供。A～Dの中から、ご希望の多い研修を実施します。

## A ジョブ型人事マネジメントへの転換と課題

- 新しい働き方に対応する制度を構築する -

【ねらい】

- (1)職務内容を明確化し事業計画に即した適材適所を実現する人事マネジメント手法を学ぶ
- (2)職責と成果に基づく賃金制度を設計するジョブ型人事マネジメントについて基礎知識をインプットする
- (3)経験者採用、ジョブローテーションや転勤の見直し、スペシャリストの育成と活用、人材の流動化に対応できる制度構築のフローと注意点、課題対応策を理解する

【内容】(1)ジョブ型雇用の定義

- (2)ジョブ・ディスクリプションの作成と活用
- (3)経験者採用と雇用流動化への対応
- (4)ジョブローテーションと転勤の見直し
- (5)スペシャリスト育成・活用と水平的キャリア形成
- (6)職務給の導入と評価基準の見直し
- (7)真のダイバシティの実現と組織開発

## B 2030年のワークスタイルを探る～変わる『働く場』と『キャリア観』

- イノベーションを生む組織、エンゲージメントの高い組織など、新時代に求められる組織像を探る -

- 【ねらい】 (1)働く人々の意識や働き方をどう変えるのか？ 変化の大きい時代の組織開発・組織づくりの参考にする  
(2)記者と人材開発のスペシャリストの声から、組織の将来像を考える

- 【内容】 (1)講演① コロナ禍は日本の働き方にどのような影響を与えたか？ など  
(2)講演②  
・「働き方改革」先進企業の今～先進企業で、今、何が起きているのか～  
・エンゲージメントを高める組織と具体的な施策  
(3)対談 「2030年の働く場」はどうなっていくのか？などをテーマに討論  
(4)ディスカッション 講師と参加者全員

## C オンラインですすめる1on1のコツと注意点

- 1on1コミュニケーションの促進を通じて対話型マネジャーの養成 -

- 【ねらい】 (1)1on1とは何か？目的と必要性を理解する  
(2)1on1の全体像と具体的に「何を」対話すればよいか？を理解する

- 【内容】 (1)1on1が必要な社会的背景  
(2)組織で行われている2つのコミュニケーション  
(3)1on1ミーティング実施の声  
(4)1on1ミーティングが続かない理由  
(5)1on1で「何」を話すか？－すり合わせ9ボックス  
(6)1on1で「どう」話すか？－すり合わせる技術

## D 未来構想セッション

- 未来予測を起点とした事業構想力を養う -

- 【ねらい】 (1)事業構想やアイデア創出を加速させるため、未来学を用いたアイデア形成を体感する  
(2)自社の新規事業開発や変革リーダーへの研修を体験する

- 【内容】 (1)未来学と未来社会デザイン  
(2)未来学を用いた社会変化のアイデア形成WS  
(3)コンセプト設計  
(4)はたらくの未来のロードマップの策定

# 日経スマートワーク経営フォーラムとしての広報活動

## 会員専用HPの利用

フォーラムの活動報告やメッセージを新聞広告や専用サイトでお伝えします。メッセージと合わせて、会員企業のロゴマークを適宜掲載します。また、会員専用のHPを特典としてお使いいただけます。



日経スマートワークプロジェクト公式サイト  
<http://smartwork.nikkei.co.jp/>

本サイトには、日経「スマートワーク経営」調査の説明会や開催されたシンポジウムの資料・アーカイブ映像など一連のプロジェクトの活動内容が掲載されています。

**SW Forum MEMBER**

2020.9.28 第1回 会員限定特別セミナーを開催

開催日 2020年9月28日 (月) 15:00-16:50

開催方式 ZOOMによるウェビナー、ミーティング形式でのセミナー

テーマ 「日経スマートワーク経営調査・過去3回から見えてきたもの〜従業員理解・ウェルビーイングを高めることは企業業績の向上につながるか〜」

講師 慶應義塾大学大学院商学研究科教授、「スマートワーク経営研究会」 座長 鈴木 龍光 氏  
 慶應義塾大学商学部教授、「スマートワーク経営研究会」 委員 山本 勲 氏  
 学習院大学経済学部教授、「スマートワーク経営研究会」 委員 滝澤 美帆 氏

コーディネーター 日本経済新聞社 編集委員 石塚 由紀夫

参考テキスト 「日経スマートワークOUTLOOK 2 0 2 0」

### 会員専用ページ SW Forum MEMBER

特別セミナーのアーカイブ映像を会員限定で見ることが出来ます。また、研修やセミナーの予定、会員の活動などの情報を確認できます。

# 入会方法

※毎月、入会が可能です。入会期間は入会月から一年間です。満了日の1か月前までに退会のご連絡がない場合は、自動的に一年間更新されます。  
 ※開催日程や開催方法は新型コロナウイルスの感染拡大等の事情により変更になる場合があります。

## 入会資格

**正会員** ※下記のプレミアム、AまたはBまたはCのいずれかからお選びください。

対象:日経「スマートワーク経営」調査 ご回答企業

第1回から第5回までの調査のいずれかにご回答いただいた企業すべてが対象になります。

### 正会員プレミアム

下記A~Hの会員特典すべてにご参加していただけます。

年会費 1,200,000円(消費税別)

### 正会員 A

下記B~Hの会員特典にご参加していただけます。

年会費 800,000円(消費税別)

### 正会員 B

下記のBまたはDのいずれかとC,F,Hの会員特典にご参加していただけます。

年会費 500,000円(消費税別)

追加

### 正会員 C

下記のC,F,Hの会員特典にご参加していただけます。

年会費 300,000円(消費税別)

### 賛助会員

対象:日経「スマートワーク経営」調査への回答実績がない企業、次回回答を検討している企業等

下記C,F,G,Hの会員特典にご参加していただけます。

年会費 500,000円(消費税別)

## 会員特典

- A 「Smart Work経営 診断プログラム ベンチマークレポート」プレミアム版の提供  
 ※プレミアム版にはプレミアム版説明会、ベーシック版が付属しています。
- B 「Smart Work経営 診断プログラム ベンチマークレポート」ベーシック版の提供
- C 日経スマートワーク経営特別セミナー、日経グループによるセミナー  
 開催されるすべてのセミナーに参加していただけます(会員1社2名まで)。
- D 日本経済新聞社による特別研修の受講  
 日本経済新聞社人材教育事業局が提供する研修を受講できます(会員1社2名まで)。
- E 調査データの活用(2022年6月~2023年3月の期間)  
 QUICKが提供する調査結果と株価動向などを組み合わせて確認できる特設サイトを利用可能
- F 会員同士の交流会  
 会員同士が参加する交流会にすべて参加していただけます(会員1社2名まで)。
- G 会員向けセミナーへの登壇(有料)  
 特別セミナーに登壇していただけます。詳細は事務局にお尋ねください。
- H 会員専用HPの利用  
 特別セミナーなどのアーカイブ映像を会員限定で見ることが出来ます。

	正会員				賛助会員
	プレミアム	A	B	C	
A	○				
B		○	(○) 選択		
C	○	○	○	○	○
D	○	○	(○) 選択		
E	○	○			
F	○	○	○	○	○
G	○	○			○
H	○	○	○	○	○

# 入会のお問い合わせ・申し込み

## 会員募集中

- ※毎月、ご入会が可能です。入会期間は入会月から一年間です。
- ※第三期の活動は、2022年7月から開始します。

下記のサイトから入会案内資料をダウンロードできます。  
お申し込みフォームにて入会申し込みを行っていただき、  
後日、正式な申込書類を送付させていただきます。

<https://smartwork.nikkei.co.jp/entry/>



〔お問い合わせ〕

日経スマートワーク経営フォーラム事務局

E-mail: smartwork-f@nex.nikkei.co.jp